



はは歯クラブだより



No.07

もう新しい生活に慣れたでしょうか。

こんにちは！  医療法人 **ゆきなり小児・矯正歯科**です。子供はよくころぶものです。今回は前回に引き続いて歯をぶつけ場合のお話です。

歯をぶつけて抜けてしまった場合のお話は書きましたが、そこまでひどくなくとも歯の中の神経が死んでしまう場合があります。ぶつけて1週間前後で歯の色が赤茶色(歯の中で出血が起こっています)になったり、その時は大丈夫でも2-3か月経過した後に、歯が黒ずんで(歯の中の神経が死んでいます)くることがあります。この場合は歯に穴を開けて中の死んでしまった神経を取ってあげる必要があります。そうしないと歯の色はますます変色して行き、歯の根まで悪くなることもあります。



神経は死んでいますので麻酔などは使う必要はありません。2-3回程、通院する必要があります。変色がなくとも歯の根が徐々に溶け出すことがあります。1-2年程ですっかり根がなくなり歯の生え代わりの時期でもないのに抜けてしまうこともあります。上の前歯はだいたい7歳前後で生え代わりが始まります。それより以前に動き出した場合は要注意です。

いずれにしろ、歯をぶつけた時には小児歯科で診てもらった方が良いでしょうね。



(日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘)

詳しくは、ホームページをご覧ください。

『ゆきなり』で検索すると簡単です。